

2024年度 阪神高速グループの 主な取り組み

2024年10月9日
阪神高速道路株式会社
代表取締役社長 吉田 光市

目次

1. 営業状況

2. 事業進捗状況

- 阪神高速のネットワーク整備
- 高速道路リニューアルプロジェクト

3. トピックス

- 料金改定（2024年6月1日）後の交通状況
- 大阪・関西万博に向けた取組
- 阪神淡路大震災後30年

1. 營業狀況

| 2024年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 上期計 |
|----------------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| 交通量（台/日） 〔2023年度同期比〕 | 709,969 〔100.8%〕 | 705,887 〔103.6%〕 | 707,796 〔100.0%〕 | 739,766 〔102.4%〕 | 714,596 〔99.0%〕 | 734,939 〔100.6%〕 | 718,848 〔101.0%〕 |
| 料金収入【税抜】 （百万円） 〔2023年度同期比〕 | 14,349 〔99.1%〕 | 14,936 〔103.5%〕 | 14,994 〔103.6%〕 | 16,103 〔105.2%〕 | 15,773 〔102.8%〕 | — | 76,156 〔102.9%〕 |

※料金収入は4月～8月の累計値

〔交通量〕

- ・今年度上半期の交通量は71.9万台 前年度比101.0%と堅調に推移しております。
料金改定後の6月～9月の通行台数累計は対前年度比100.5%と概ね横ばいとなっております。

〔料金収入〕

- ・今年度4月～8月の料金収入は761.6億円 前年度比102.9%となっており、前年度を上回る水準で推移しております。

〔その他〕

- ・2022/6/1～ 14号松原線 喜連瓜破⇔三宅JCT間における約3年間の通行止め中

【特異事象】

2023年度

- 5月19日～6月7日 3号神戸線(京橋～摩耶)でリニューアル工事により通行止め
- 8月15日 湾岸線の全線及び2号淀川左岸線・6号大和川線・16号大阪港線の一部区間で台風10号の影響により一時通行止め

2024年度

- 4月16日～4月26日 4号湾岸線(大浜～泉大津)でリニューアル工事により通行止め
- 8月27日～9月1日 台風10号の接近により長期間にわたる影響が発生

2. 事業進捗状況

阪神高速のネットワーク整備（1）

○阪神高速では、
 お客さまの利便性向上、関西経済の活性化などに寄与するミッシングリンクの解消に向け、現在、
 淀川左岸線(2期)、淀川左岸線延伸部、大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線の整備を推進しています



※淀川左岸線延伸部の延長は、西日本高速道路(株)の単独施行区間1.1kmは除いたもの

※名神湾岸連絡線の延長は、国・西日本高速道路(株)の合併施行区間0.3kmは除いたもの



淀川左岸線(2期)

- 大阪市より受託している海老江地区及び豊崎地区の工事（開削トンネル・換気所・橋梁）では、橋脚工、桁架設工および掘削工が完了し、床版工および函体工等を実施しており、年内に概成する見込みです
- 大阪市と共に、大阪・関西万博会場へ向かうシャトルバスのアクセスルートについて、ハード面およびソフト面の準備を進めています

淀川左岸線延伸部

- 豊崎地区では地中障害物撤去工事等を実施しています
- トンネル部では有識者の助言を踏まえ設計検討を実施しています
- 堤防・トンネル一体構造の区間では、安全性等の検討について国と協議・調整を進めています



舗装工事の実施状況

橋梁床版工事の実施状況

橋梁工事の実施状況

U型擁壁部躯体工事の実施状況



縦断面図

阪神高速のネットワーク整備（3） ～大阪湾岸道路西伸部①～

大阪湾岸道路西伸部

- 駒栄地区では開削トンネル（本体）工事を実施しています
- 六甲アイランド地区では橋梁の基礎工事を実施しています
- 海上部長大橋（新港・灘浜航路部）では詳細設計契約に向けて手続き中です
詳細設計契約後は、耐風・耐震及び施工計画を踏まえた詳細設計を実施予定です



縦断図



- 大規模更新事業としては、3号神戸線湊川付近、14号松原線喜連瓜破付近及び15号堺線湊町付近の3箇所を工事を実施しています。
- 16号大阪港線（西行）阿波座付近で実施している大規模修繕工事では、新設桁の架設及び道路付属物等の設置が完了し、5月26日に高速道路上の固定規制を解除しました。
- 引き続き、リニューアル工事へのご理解・ご協力をお願いします。

事業箇所と主な進捗状況

3号神戸線 湊川 (1968年開通)



新設橋脚設置状況

- 耐久性の向上及び最新の耐震基準への適合のため、既設橋脚間に新たな橋脚の架設が完了
- 上部工の架け替えまでの健全性把握のためモニタリングを実施中



16号大阪港線 阿波座 (1997年車線拡幅)

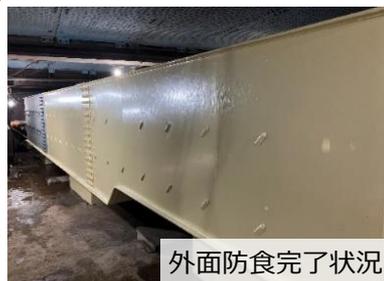


完了状況

- 縦目地構造を解消し、安全性の向上、騒音の低減を図るための架け替えを実施
- 街路の復旧工事等を実施中（2024年12月完了予定）

15号堺線 湊町 (1972年開通)

- 先行施工分（全9基の鋼製基礎のうち3基を対象）の支承取替を完了
- 内外面の防食工及び躯体コンクリート工を実施中（万博までに概成予定）



外面防食完了状況

14号松原線 喜連瓜破 (1980年開通)



新設桁架設状況

- 2022年6月より松原線の一部区間を上下線通行止めすることにより、橋梁全体を鋼製の連続桁へ架け替える工事を実施中
- 既設橋桁の撤去、新設橋桁の架設が完了

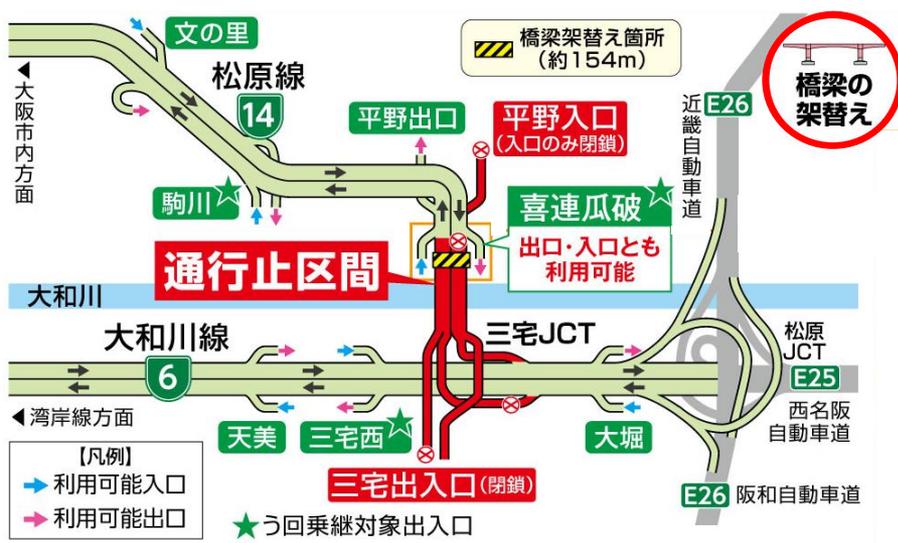
14 松原線

きれうりわり
喜連瓜破 **上下線** 三宅 JCT

2022年6月1日～
終日通行止区間

2024年12月上中旬 通行再開へ

現在の終日通行止区間



9月14日中央径間部を架設
(瓜破交差点)



引き続き、中央分離帯の設置や舗装等の工事を進めてまいります。
具体的な通行再開日は改めてお知らせいたします。



詳しくは**特設サイト**をご覧ください

喜連瓜破付近 橋梁架け替え工事の主な経緯

工事による騒音や周辺交通への影響をできる限り抑えるとともに、工期の短縮も図るため、様々な工法を駆使しながら工事を進めてきました

2022.6.1 通行止 開始

- 2022.11 ①撤去用仮設桁の設置完了
- 2023.6 ②既設桁の撤去完了
- 2023.10 ③仮設桁の撤去完了
- 2024.3 ④既設梁の撤去完了
- 2024.4 ⑤鋼製梁(橋脚)の設置
- 2024.6 ⑥側径間桁の架設
- 2024.9 ⑦中央径間桁の架設
- 2024.12上中旬 (通行再開予定)

通行止から1年、通行止から2年

① 撤去用仮設桁の設置 (～2022年11月)

仮設桁
既設桁

仮設桁
長居公園通

高速道路上に仮設桁を敷設、仮設桁上から既設橋桁を撤去

※交通量の多い交差点等、極力一般道路の通行を妨げない工法を採用

② 既設桁の撤去 (～2023年6月)

仮設桁

③ 仮設桁の撤去 (～2023年10月)

仮設桁 (夜間に引き戻し)

④ 既設梁の撤去 (～2024年3月)

移動作業車 運搬台車 仮設桁
撤去順序 中間橋脚 長居公園通

仮設桁上に設置した移動作業車を用いて、低騒音工法にて両側から少しずつ既設のコンクリート桁を撤去

⑤ 鋼製梁(橋脚)の設置 (2024年4月)

鋼製橋脚
クレーン車 多軸台車

⑥ 側径間の架設 (2024年6月)

側径間桁 (送出前)

鋼製橋桁 送り出し 送り出し 鋼製橋桁
多軸台車

本線上で予め橋桁を組み立て、多軸台車を用いて夜間に送り出すことで側径間部を架設

⑦ 中央径間桁の架設 (2024年9月)

吊上げ設備
吊上げ 吊上げ
多軸台車 鋼製橋桁

側径間に設置した吊上げ設備を用いて、予め組み立てた中央径間部の橋桁を多軸台車で運搬し一括架設

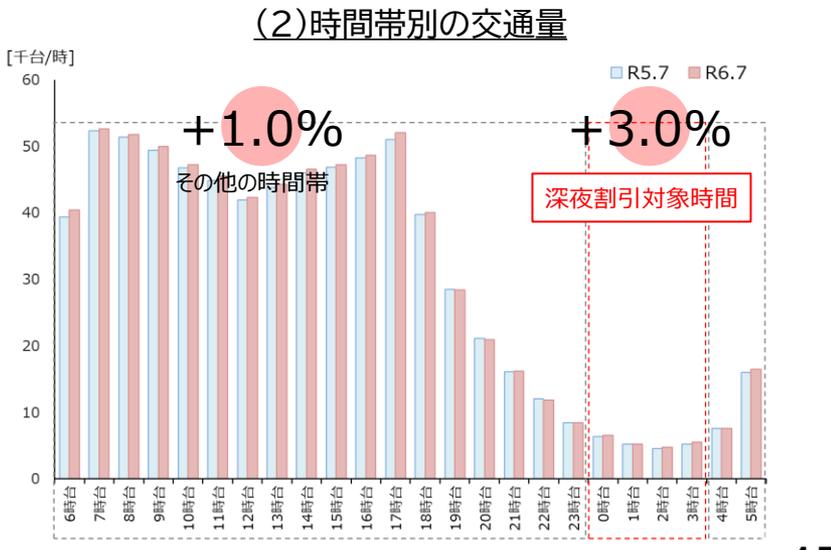
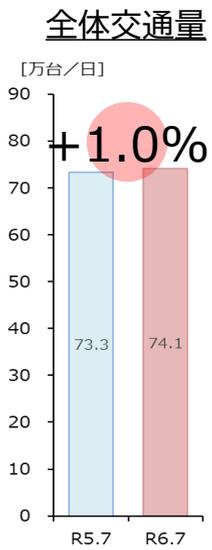
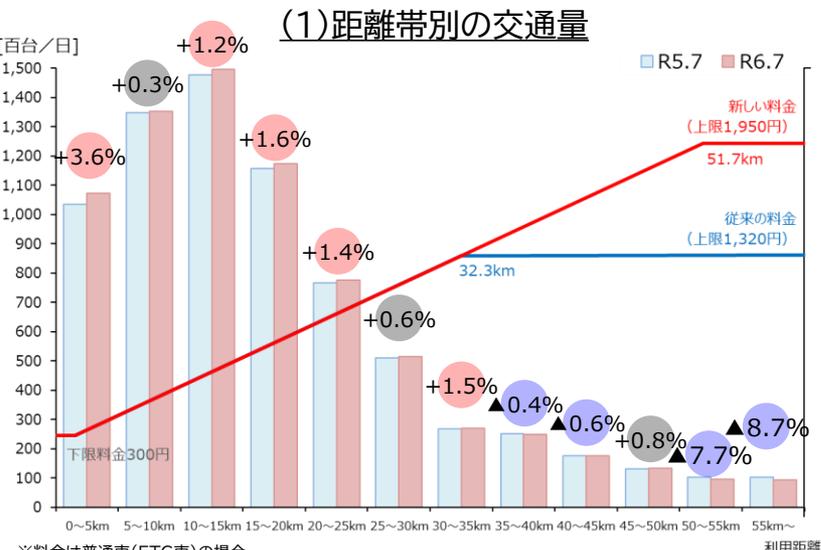
3. トピックス

料金改定（2024年6月1日）後の交通状況（1）

- 2024.6.1(土)より近畿圏の新たな高速道路料金として、対距離制を基本とした公平な料金体系の更なる前進に向け、新たな上限料金を設定し、高速道路をより効率的に賢く使って頂けるように様々な割引を導入・拡充しました。
- お客さまのご協力により混乱なく新たな料金に移行したところですが、引き続き、交通状況やお客さまの声に注視してまいります。

(1)距離帯別交通量、(2)時間帯別交通量

- 距離帯別及び時間帯別の状況は以下のとおりです。
 - (1)前年に比べて全体交通量が増加傾向となる中、上限料金を引き上げた35km以上の利用は減少傾向ですが、35km以下の利用は増加傾向を示しています。
 - (2)深夜割引を導入した時間帯の交通量(0～3時台)は、全体交通量よりも大きい増加率を示しています。



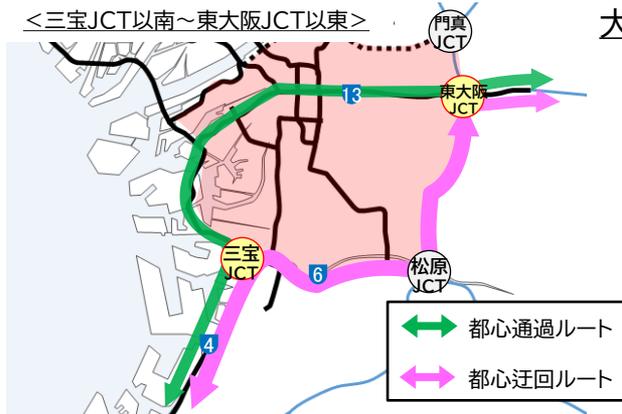
※全体交通量・距離帯別及び時間帯別交通量はETCデータにより集計(平日平均・特異日を除く)

料金改定（2024年6月1日）後の交通状況（2）

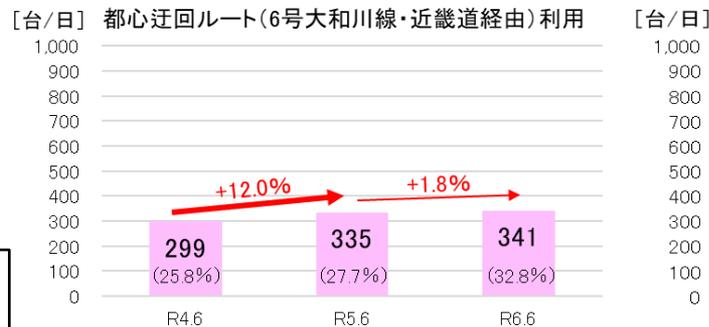
（3）大阪都心迂回割引、神戸都心迂回割引

- 新たに開通した大和川線や新名神高速道路開通に伴い渋滞緩和が見込まれる中国道を活用した大阪都心迂回割引及び神戸都心迂回割引を導入しています。
- 今回の料金改定により、都心部を通過する交通が減少し、大阪都心部を迂回する交通が増加しています。
- 今後とも、平均所要時間をわかりやすく情報提供するなど、お客さまがこの割引を活用して経路選択できるように取り組んでまいります。

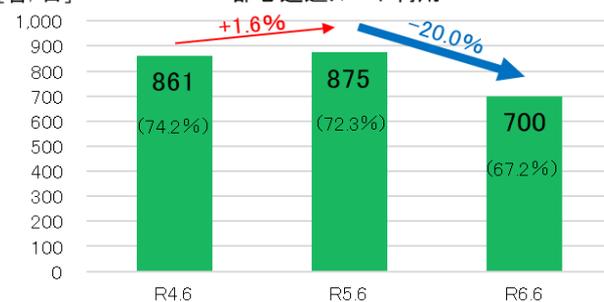
<三宝JCT以南～東大阪JCT以东>



大阪都心通過ルートと都心迂回ルートの利用分担



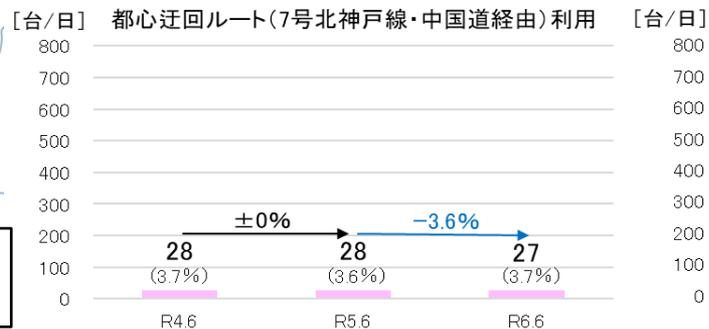
都心通過ルート利用



<伊川谷JCT以西～東大阪JCT以东>



神戸都心通過ルートと都心迂回ルートの利用分担



都心通過ルート利用



※ETCデータにより集計（平日平均・特異日を除く）、グラフ上の（ ）内の数値は、都心通過と都心迂回の利用分担率、グラフ上の増減率の数字は、利用台数のR4対R5およびR5対R6

阪神高速は、関西の暮らしや経済・社会活動を下支えするインフラ企業として、2025大阪・関西万博の成功と関西経済のさらなる発展に貢献するため、万博関連プロジェクトを推進しています。

1. 交通円滑化への貢献

- ① シャトルバスによるアクセスルートとなる淀川左岸線（2期）の整備 **別添1**
- ② 万博関連車両の交通需要に対応するためのボトルネック対策等の実施
 - ◇ 湾岸舞洲出口・天保山JCTの2車線化 <2024.5-6完了>
 - ◇ 阿波座<2024.5完了>・喜連瓜破<2024.12完了予定>の大規模更新工事の計画的実施 等
- ③ ETCの活用による「万博P&R利用料金」におけるダイナミックプライシングの実施を通じた混雑路線の回利用促進 **別添2**

2. 多様なお客さまサービス提供

- ① パーキングエリア（PA）でのサービス提供 **別添3**
 - ◇ 5号湾岸線中島PA（泉佐野方面行）のオープン
 - ◇ コンシェルジュサービス、ピクトグラム表示、ハラル食品の提供、授乳室の設置 等
- ② LINE公式アカウント等を活用した万博関連情報の提供 **別添4**

3. 地域のにぎわい創出

- ① 長大橋や中之島橋脚におけるライトアップの実施 **別添5**
- ② 道路構造物の美装化（千日前付近（常設定場）等）
- ③ 沿線地域の魅力を紹介するイベントのパーキングエリアでの開催、観光情報や地域情報の発信

4. 新たなプロジェクトへのチャレンジによる価値の創造

- ① 万博会場へのシャトルバスアクセスルートにおける自動運転車の走行をインフラ側から支援する合流支援技術・先読み情報提供の実装 **別添6**
- ② リアルタイムな交通状況を予測し一人ひとりと交通全体にとって最適な移動の組合せを導出する、デジタルツイン技術を活用したモビリティサービスの開発に関する実証実験や万博MaaSへの技術協力等 **別添7**

5. 万博（バーチャル会場）への出展 **別添8**

水上・陸上交通の結節点として発展してきた「サステナブル・シティ」大阪・関西の歴史と阪神高速の未来像を発信し、先人達の努力・営み・思いを次世代に継承

1. 交通円滑化への貢献

シャトルバス運行に向けたアクセスルートの整備

- 大阪・関西万博会場へ向かうシャトルバスのアクセスルートの整備については、大阪市からの依頼を受けて、海老江地区及び豊崎地区において舗装工等を実施しており、12月末完成目途で進めています
- 淀川左岸線（2期）区間を利用する来場者は、1日あたり最大で約5,000人と見込まれており、新大阪駅、大阪駅等の大阪中心部からのアクセス時間の短縮及び定時性を確保した、高密度なバス運行が可能となります
例：新大阪駅から舞洲間が35分⇒19分（16分（▲46%）短縮）



(提供：大阪市)

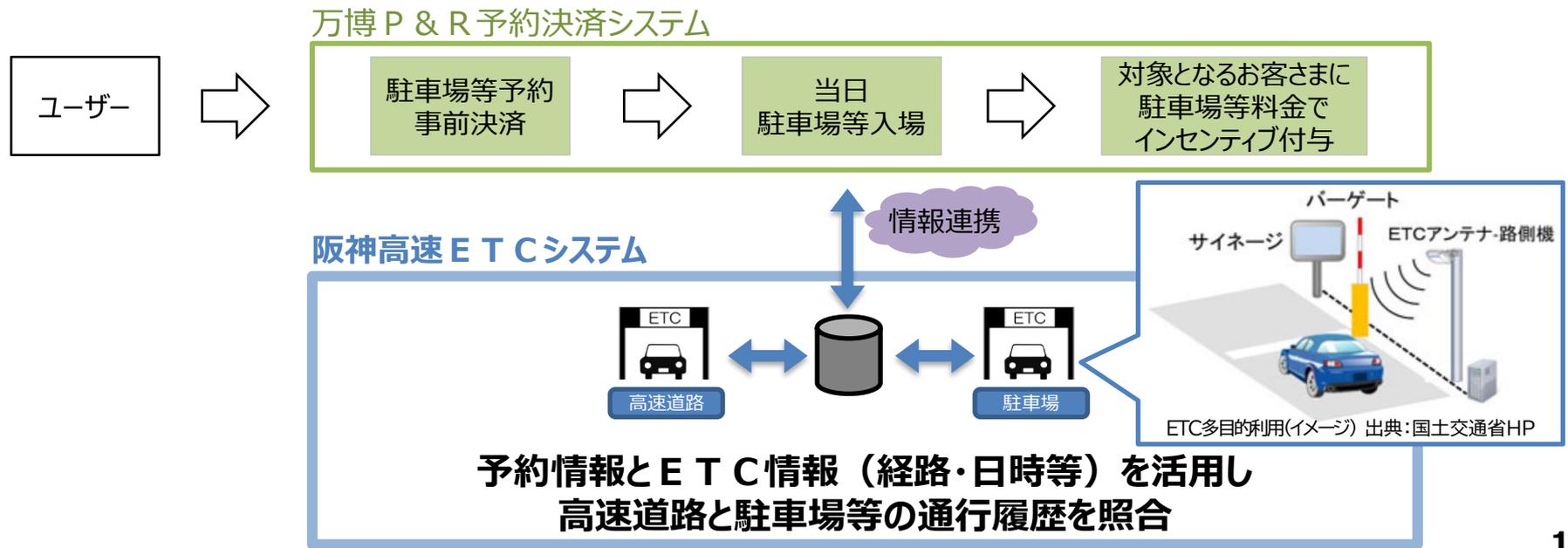
| 発着駅 | 台数 | 日(最大) | 時間(最大) |
|-------|-----|-------------|------------|
| 新大阪 | 10台 | 2,100人/48便 | 360人/8便 |
| 大阪(北) | 5台 | 400人/11便 | 135人/3便 |
| 大阪(南) | 7台 | 1,400人/30便 | 315人/7便 |
| 中之島 | 6台 | 1,300人/30便 | 300人/7便 |
| 計 | 28台 | 5,200人/119便 | 1,100人/25便 |

出典：大阪・関西万博 来場者輸送具体方針(アクションプラン)第4版

1. 交通円滑化への貢献

ETCの活用による「万博P&R利用料金」におけるダイナミックプライシングの実施

- 自家用車による来場者輸送の円滑を図る観点から、①混雑する時期や時間帯を避けたご利用 ②阪神高速道路の特定出口や1号環状線等の大阪中心部の混雑区間の迂回ルートをご利用 のお客さまに対して、「駐車場等料金」を相対的に引き下げるなどダイナミックプライシングを導入することとされています。
- 阪神高速道路 E T Cシステムと、万博 P & R 予約決済システムが情報連携することにより、E T C情報を活用したダイナミックプライシングを実現します。
※詳細については、「公益社団法人2025年日本国際博覧会協会」のHP等で順次公表予定。
- 本連携システムから得た技術やノウハウは、当社が目指す様々な次世代モビリティサービスの実現に活用してまいります。



2. 多様なお客さまサービス提供

5号湾岸線 中島PA (泉佐野方面行) のオープン

大阪・関西万博開催までに、5号湾岸線の本線料金所跡地に中島PA (泉佐野方面行) をオープンします。お客さまをお迎えするエントランスゲートから建物内部までサステナビリティに配慮し、循環型資材である木材を多く使用することで「ぬくもり」を感じていただきながら、ピクトグラム表示やバリアフリートイレの充実等により多様なお客さまのご要望にお応えします。



【位置図】



【中島PA (泉佐野方面行) 整備イメージ】



パーキングエリアでのインバウンド対応等

コンシェルジュサービスや多言語表示、ピクトグラム表示等により、インバウンドのお客さま等への案内等を充実させます。



大阪府内産木材を利用したコンシェルジュ室とインフォメーション



ピクトグラムや多言語表記によるわかりやすいご案内



多様なニーズに応えるサービスの提供



2. 多様なお客さまサービス提供

LINE公式アカウント等を活用した万博関連情報の提供

- 阪神高速では、割引・キャンペーン等の案内や災害時の緊急情報等を、スマートフォンを使って手軽にオールインワンで入手できる「LINE公式アカウント」を運用中です。（9月末時点の友だち数：約3.2万人）
- 今後も、3月末までに次の機能強化を行い、将来は他システムとも連携するなどアップデートしていきます。
 - 万博関連情報の提供のためのリッチメニューのタブ化
 - 料金検索機能の充実、ETC利用履歴提供サービスとの連携
 - 情報配信機能の強化
- 万博に来場されるお客さまにも、阪神高速の交通情報などニーズに応じたタイムリーな情報を、ポータルサイト等と連携してご提供します。



（料金検索機能の充実）

今後の機能強化等のイメージ

（リッチメニューのタブ化、ETC利用履歴提供サービスとの連携）



<参考：現在の通常メニュー>

| お客さまのニーズ等 | 情報の内容 | 情報のイメージ |
|--|--------------------------------------|---------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・経路や料金を知りたい ・交通状況に応じてスムーズに走行したい | 経路、料金、交通状況の現状や所要時間 （「はしれGo!」へリンク） | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・経路や出口を知ってスムーズに運転したい | 分岐・出口等の経路案内の車載動画 （YouTube動画へリンク） | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・万博来場に合わせて周辺地域も観光したい | 周辺地域観光の情報 （「おでかけ情報」へリンク） | |

阪神高速の万博ポータルサイト（2025年1月開設予定）

万博開催に向けた阪神高速の取り組みの全情報を掲載します。

2025日本国際博覧会（大阪・関西万博）
阪神高速ポータル

本サイトは、2025大阪・関西万博にご来場いただくお客さまや地域の皆さまに、阪神高速道路のご利用や、地域の観光などに関する情報をご提供いたします。

万博会場に来場されるお客さまのための情報はこちら

- 万博開催期間中の混雑日情報
- 料金・経路・渋滞・所要時間等の情報
- 分岐・出口のご案内
- 万博P&R（パークアンドライド）駐車場のご案内
- 阪神高速のPA（パーキングエリア）のご案内

万博へご来場に合わせて関西を観光されるお客さまのための情報はこちら

- 阪神高速のお出かけ情報
- キャンペーン情報（P）
- 阪神高速のライブアップ
- 阪神高速は万博パーチャル会場に出版します

業務や通勤等のために阪神高速をご利用されるお客さまのための情報はこちら

- 万博開催期間中の交通状況・渋滞等の情報

ポータルサイトのイメージ

3. 地域のにぎわい創出

特別ライトアップ

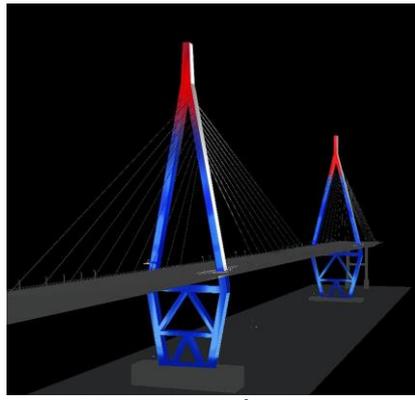
■ 天保山大橋のライトアップをフルカラー化し、中之島橋脚と合わせ、万博特別ライトアップやアウェアネスカラーのライトアップを通じて地域の取り組みへ協力して参ります。

- ・ 天保山大橋では万博100日前イベントに合わせてフルカラーLEDによるライトアップを開始します。
- ・ 万博前イベント及び万博期間中は、天保山大橋及び中之島橋脚において万博特別色のライトアップを実施します。
 〈特別ライトアップ日程〉 ①万博開催100日前 「光のまちづくり推進委員会」の他イベントと連動して実施
 ②万博開催前日～期間中 2025年4月12日(土)～2025年10月13日(月)

天保山大橋特別ライトアップ

◆時間
日没 ～ 22:00

◆演出内容
青赤白の3色による常時点灯

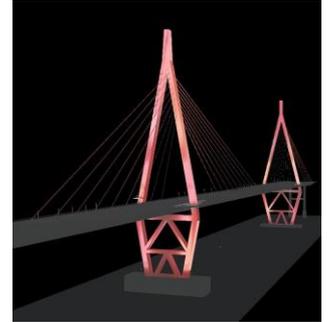


特別ライトアップのイメージ



天保山大橋位置図

※通常時は、季節に応じた水彩カラーで点灯します
(図は春のイメージ)



中之島橋脚特別ライトアップ



参考：中之島橋脚 万博500日前特別ライトアップの様子



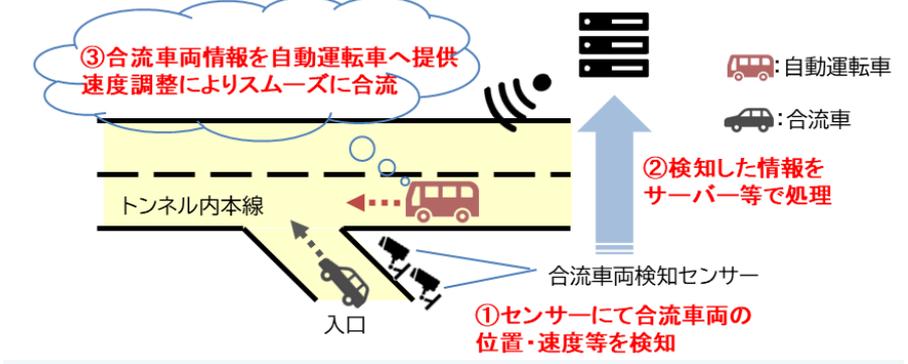
中之島橋脚 特別ライトアップ実施予定区間

4. 新たなプロジェクトへのチャレンジによる価値の創造

自動運転車における合流支援技術等の実装

○今後の自動運転の拡大、将来の完全自動運転化（路車間協調）を見据え、万博会場へのシャトルバスアクセスルート（淀川左岸線（1期）及び（2期））において、関係機関と連携して、バス事業者が行う自動運転車の走行をインフラ側から支援する合流支援システム・先読み情報提供の実装に向けた取り組みを継続しています

合流支援システム



検知した一般車両の走行速度・車長等を自動運転バスに送信し、車線変更や減速判断に活用

先読み情報提供



交通管制室で把握した淀川左岸線（1期）区間での路上障害等の情報を、自動運転バスで活用可能なフォーマットで配信、自動運転車の車線変更を支援



※大阪市自動運転バス実装協議会資料より引用

黄色い四角：合流支援システムの実装予定箇所

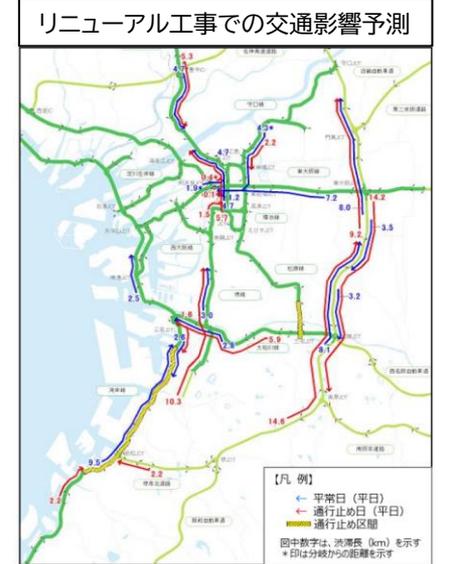
4. 新たなプロジェクトへのチャレンジによる価値の創造

パーソナライズされた安全・安心・快適なモビリティサービスの実現に向けた取り組み

- リアルタイムに取得した交通データ等の反映により交通状況を逐次予測し、お客さま一人ひとりと交通全体にとって最適な移動の組合せを導出する、デジタルツイン技術の活用により、お客さま一人ひとりの状況に応じた提案を行う新たなモビリティサービスの実現に向けて技術開発を推進しています。
- 大阪・関西万博期間中では、実証実験による一部試行や万博MaaSへの技術協力等を行う予定です。

従来

- 過去実績や調査に基づく渋滞予測(HP等に掲載)

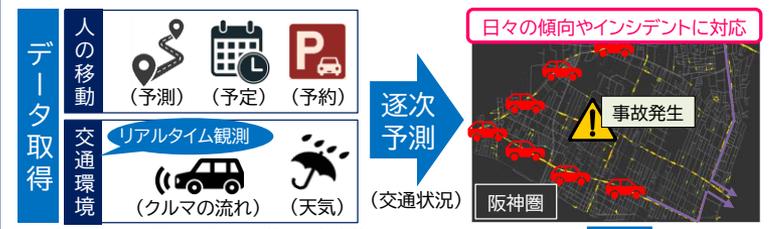


イベントの予定や当日の事故など、日々異なる変化は考慮できない

万博時 一部を実証実験として試行*

リアルタイム交通予測 (移動の予定や現在の交通状況を踏まえた逐次予測)

- 人の移動に関する予測・予定・予約情報の活用
- リアルタイム観測に基づく交通状況の逐次予測



※人の移動に係るデータ取得は万博で一部実装

お客さまの経路や交通全体に与える影響などを逐次予測

実証実験による一部試行や万博MaaSへの技術協力等を行う予定

※共同研究者の協力により実施予定

将来

人やクルマの動きをリアルタイムかつ高精度にて観測するデータ取得技術

都市圏の人の流れや交通状況を日々の変化も踏まえて逐次予測する技術



お客さま一人ひとりの違いや現在の状況にも配慮した内容・タイミングにて個別提案する技術

お客さま一人ひとりと交通全体にとって最適解となる移動の組合せを膨大な組合せから導出



5. 万博（バーチャル会場）への出展

大阪・関西は、瀬戸内海から大阪湾を経て内陸へと至る、我が国の水上・陸上交通の結節点としての機能を果たすことで、古代においては主に政治、近世においては主に商業・経済の分野で大きな役割を担い、そして現在に至るまで、永続的に発展・成長してきた世界でもまれな「サステナブル・シティ」です。

その大阪・関西の地で、阪神高速は、かつて交通インフラとして機能した水辺空間を高速道路網として再利用させていただくことで、関西都市圏の大動脈として、安全・安心・快適なネットワークを通じてお客さまの満足を実現し、関西の暮らしや経済の発展に貢献するよう取り組んでいます。

阪神高速は、万博バーチャル会場に出展し、「サステナブル・シティ」大阪・関西の歴史と、それに深く関わってきた交通の変遷・進化・その先にある未来像を、最新のVR技術を活用したCG映像と自由に散策できるVR空間によりお示しすることで、先人達の努力や営みに感謝しつつ、次世代にその思いをつなげていきます。

(出展期間：2025年5月中旬頃)

(バーチャル会場への出展イメージ)



万博公式プラットフォーム

①バーチャル万博プラットフォーム

②バーチャル催事場の内観

①バーチャル会場へ入場



②バーチャル催事場へ入場



※アバターはあくまでもイメージです

阪神高速独自プラットフォーム



④ VR空間を自由に散策

アバターで港大橋・東横堀川をVR体験



○2025年1月17日に阪神・淡路大震災から30年を迎えます 当社は、震災で学んだ教訓を忘れることなく、今後発生が予想される南海トラフ巨大地震等に備えた対策や、津波に備えた対策に取り組んでいます。

○特設サイトを開設

阪神高速の被害状況や復旧までの記録のほか、災害時にも『安全・安心な高速道路』であり続けるため、当社が取り組む高速道路の耐震対策、事業継続計画（BCP）、地方公共団体をはじめとする関係団体との災害時連携など防災・減災に関する取り組みについて掲載しています。
震災関連イベントに関する情報も当サイトを通じて発信してまいります。

■ 阪神・淡路大震災から30年特設サイト 公開しました！

兵庫県南部地震の概要

1995年（平成7年）1月17日午前5時46分、淡路島北部を震源とするM7.3の地震が発生しました。この地震は神戸市東灘区北西の六甲山地区から淡路島にかけて大津波襲撃等発生を引き起こされました。

[詳しくみる](#)

阪神高速の被害

阪神高速道路では13号神戸線で635mにわたって倒壊、49所で陥没したをはじめ、5号淡路線でも1か所陥没などの被害がありました。

[詳しくみる](#)

復旧を支えた技術

被害状況の調査結果から復旧まで3年はかかると考えられました。しかし、神戸地区は日本の大動脈であり、神戸の港湾・物流機能の正常化であるため、日本経済にも大きな影響は及びました。早期復旧は至上の命題でした。

[詳しくみる](#)

防災・減災の取り組み

阪神高速では過去の大規模な地震を受けて構造物の耐震対策を進めてきました。また、被災時は緊急輸送ルートとしての道路機能を確保できるよう、日々訓練に取り組んでいます。

[詳しくみる](#)

復旧へと立ち向かった人々の記録

震災直前に制作中だった職員が被災した見聞と苦闘の行動を記録した手記。復旧工事に携わった工事関係者の記録を紹介します。

[詳しくみる](#)

震災から復旧までの記録

1995年1月17日の地震発生から復旧工事を経て1996年9月30日の3号神戸線全線開通までの212日の経過を辿ります。

[詳しくみる](#)

被災経験の継承

阪神・淡路大震災での被災・復旧経験を生かすことなく後世に語り継ぐため、震災資料保管庫の一般公開を実施しています。

[詳しくみる](#)

阪神高速 震災30年

<https://www.hanshin-exp.co.jp/earthquake/>

